

1 と かつ かい こん が い し ゃ の う じ ょ う ち く し ゃ
十勝開墾会社農場畜舎



建設当時の畜舎(ビート資料館提供)

近代日本経済の父といわれる、渋沢栄一らが1898(明治31)年に設立した十勝開墾会社が、札幌農学校(現在の北海道大学)に依頼し1919(大正8)年に建築した、当時としては理想的な畜舎。現在も1階は畜舎、2階は飼料庫として使用されています。

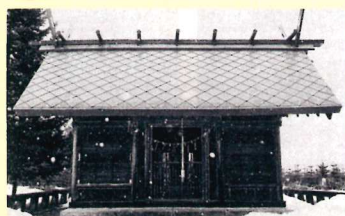
2 せい えん ざん じ ゅ こ う じ
青淵山寿光寺



建築当時の寿光寺(昭和初期頃)

1918(大正7)年に富山県の僧、増山白渚を招き熊牛説教所として開基し、その後、十勝開墾会社から敷地や材料費、また渋沢栄一らより寄付を得て工事が始まり、1929(昭和4)年に寺院が落成しました。
渋沢の雅号「青淵」を山号に戴いており、渋沢直筆の扁額が掲げられています。

3 たい しょう じん じ ゃ
大勝神社



改修前の拝殿(平成19年)

1911(明治44)年、十勝開墾会社が敷地や工費を投じ本殿を造営、翌1912(大正元)年に拝殿を造営し、新元号大正の「大」と十勝の「勝」から大勝神社と名づけられました。札幌神社(現北海道神宮)から大國魂神ほか2神の分霊を請い、祭神としています。
2012(平成24)年に創祀百年を記念し、改修されました。

4 も はん の う か
ドイツ人模範農家 コッホの住宅



改築前のコッホの住宅(昭和38年)

1923(大正12)年に道庁の招聘で、ドイツよりフリードリッヒ・コッホが妻と4人の子どもをつれて居住し、7年間にわたり甜菜栽培の研究や輪作体系の技術指導を行いました。
住宅は木造2階建てのドイツ風建築で、1974(昭和49)年に改築され、現在も使用されています。

5 ま つ う ら た け し ろ う
松浦武四郎 宿泊の地



最初の史跡標建設(昭和12年)

徳川幕府箱館奉行所御雇となった探検家松浦武四郎が1858(安政5)年、十勝内陸の調査のため、石狩から山越えし十勝川に沿ってニトマフ(現在の清水町字人舞)にたどり着いた際、アイヌ人のアラユクが歓迎して泊めた場所です。

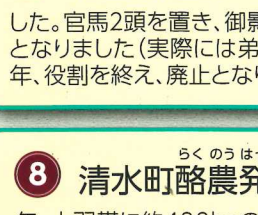
6 え き て い あ と は っ し ょ う
ペケレベツ駅通跡(清水町発祥の地)



当時の駅通の絵図(町史より)

石狩道路開通の翌年、1899年(明治32年)に官設ペケレベツ駅通が設置され、村山和十郎が取扱人となりました。官馬7頭、私馬7頭を蓄え、旅館と人馬継立及び郵便物中継の重要な役割を務めていましたが、1907年(明治40年)の北海道官設鉄道(中央鉄道・十勝線)の開通を機に、同年に廃止されました。
駅通跡を清水町発祥の地とし、町体育館前に記念碑が建立されています。

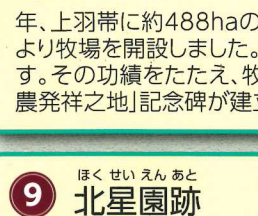
7 あ さ ひ や ま え き て い あ と
旭山駅通跡



旭山の旭山駅通跡(昭和12年)

旭山、上美生を結ぶ交通の便をはかって1927(昭和2)年、旭山31番地に開設されました。官馬2頭を置き、御影駅前旅館を経営していた村瀬瀨信が取扱人となりました(実際には弟の村瀬藤三郎が務めました)。1937(昭和12)年、役割を終え、廃止となりました。

8 ら く の う は っ し ょ う
清水町酪農発祥の地



清水町の酪農発祥の地(昭和11年)

旭川で酒造業を営んでいた塩野谷辰造が、1900(明治33)年、上羽帯に約488haの貸付を受け、羽帯9線6号に事務所を設け、翌年より牧場を開設しました。これが清水町の酪農業の始まりだとされています。その功績をたたえ、牧場があった付近に1999(平成11)年「清水町酪農発祥の地」記念碑が建立されました。

9 ほ く せい えん あ と
北星園跡



北星園の園児と職員(大正中期)

1910(明治43)年、日本育児院の職員だった山田範三郎が恵まれない子どもたちの救済施設「北星園」を事務員鈴木幸とともに園児4名で開設しました。1912(明治45)年には家庭教授の認可を申請し、認められ、1920(大正9)年まで延べ230名の園児が入園しました。その後財団法人化された北星園は1923(大正12)年に帯広へ移転されました。

清水町の歴史				
年号	年	西暦	出来事	
安政	5	1858	松浦武四郎、ニトマフ宿泊	
	30	1897	渋沢栄一ら3,500万坪の貸付予定存置出願	
	31	1898	十勝開墾会社設立 26戸99人入植	
	32	1899	石狩道路開通(帯広~旭川間) 官設ペケレベツ駅通開設	
	明治	34	1901	ペケレベツ駅通を清水駅通と改称(清水の語源) 塩野谷辰造、牧場開設(町の酪農の発祥)
		36	1903	人舞村外一カ村(屈足村)戸長役場 開設 中央鉄道「十勝線」開通 清水駅・佐念頃駅開業
		40	1907	清水駅通廃止
		41	1908	渋沢栄一が農場視察に来村(現清水町)
		43	1910	北星園開設
		元	1912	大勝神社が創建
4		1915	二級村制人舞村が発足	
8		1919	十勝開墾会社農場に畜舎建設 二級町村制御影村が発足	
大正	10	1921	旧日本甜菜製糖株式会社清水工場開設及び 鉄道(後の河西鉄道)による甜菜の運搬を開始	
	12	1923	人舞村が一級町村制を施行 明治製糖株式会社社有地にドイツ人農家 コッホ居住	
	13	1924	十勝開墾会社が明治製糖株式会社に経営移譲	
	14	1925	河西鉄道(株)が旅客営業運転開始	
	昭和	2	1927	人舞村を清水村と改称 / 旭山駅通開設
4		1929	青淵山寿光寺 落成	
11		1936	清水村が町制を施行 清水町となる	
31		1956	御影村が清水町に編入	
平成	40	1965	日勝道路(国道274号線)開通	
	23	2011	道東自動車道(十勝清水~札幌)全線開通	

北海道清水町 文化史跡紹介 パンフレット



作製/清水町教育委員会 監修/十勝清水郷土史研究会
所在地/〒089-0111
北海道上川郡清水町南3条3丁目1番地
清水町文化センター内
電話/0156-62-5115 FAX/0156-62-6333
Eメール/skyoiku@town.shimizu.hokkaido.jp

2023(令和5)年9月1日

まつうらたけ し ろう
松浦武四郎 宿泊の地
清水町字人舞278番地



ほくせい えん あと
北星園跡
清水町字下佐幌西3線



もほんのう か
**ドイツ人模範農家
コッホの住宅**
清水町字下佐幌基線70番地



えきてい あと
**ペケレベツ駅遺跡
(清水町発祥の地)**
清水町字清水第4線57番地



せい えん ざん じゅ こ う じ
青淵山寿光寺 清水町字熊牛64番地



と ち か ち かい こん が い じ ゃ
**十勝開墾会社
農場畜舎** 清水町字熊牛11番地



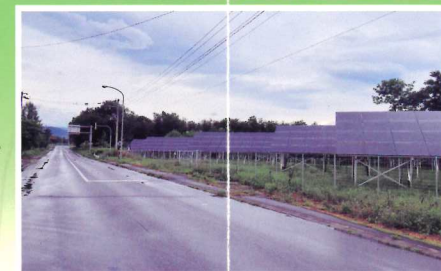
たい し ょ う じ ん じ ゃ
大勝神社 清水町字熊牛63番地



らく の う は し し ょ う
清水町酪農発祥の地
清水町字羽帯南8線



あ さ ひ や ま え き て い あと
旭山駅遺跡
清水町字旭山31番地



お願い 各史跡の見学について

①十勝開墾会社、②青淵山寿光寺、④コッホの住宅、⑤松浦武四郎 宿泊の地、⑦旭山駅遺跡、⑨北星園跡 の6箇所については、私有地になりますので、見学には各所有者の許可を得るなど良識ある行動をお願いします。
詳しくは清水町教育委員会までお問合せ下さい